

令和7年度  
新時代に対応した高等学校改革推進事業  
(普通科改革支援事業)

研究実施報告書 第2年次



宮城県中新田高等学校

## 目次

1 本校の概要	1
(1) 設置学科および在籍生徒数	1
(2) スクール・ミッション	1
(3) スクール・ポリシー	1
2 令和7年度研究開発の概要	2
(1) 本校を取り巻く環境と普通科改革支援事業の必要性	2
(2) 令和7年度実施教育課程	2
(3) 本校の取組	3
3 研究開発の内容	5
(1) 学校設定教科「地域創造学」	5
イ 2学年「地域産業Ⅰ」（2単位）	
ロ 3学年「地域産業Ⅱ」（3単位）	
ハ 2学年「地域スポーツ学Ⅰ」（2単位）	
ニ 3学年「地域スポーツ学Ⅱ」（2単位）	
ホ 2学年「地域防災学Ⅰ」（1単位）	
ヘ 3学年「地域防災学Ⅱ」（2単位）	
(2) 「総合的な探究の時間」～1学年「加美町探究」～	35
(3) 運営指導委員会	41
(4) 学校運営協議会（コンソーシアム）	44
(5) 県外学校視察	46
(6) Ai GROWによる非認知能力（コンピテンシー）測定	53

## 1 本校の概要

### (1) 設置学科および在籍生徒数

全日制 普通科 120名募集定員

学年	生徒数	類型（2学年から選択）		
		教養総合	文理医療	商業実務
1学年	76	—	—	—
2学年	71	38	12	21
3学年	68	17	22	29
計	215	55	34	50

### (2) スクール・ミッション

宮城県中新田高等学校は、「自主、誠実、協和」を校訓とし、キャリア教育を通して生徒の地域への理解と関心を深め、地域社会の発展に貢献できる人材を育成します。また、教育課程内外の様々な場面で地域との関わりを設定し、積極的に参画することで、地域に貢献し信頼される学校を目指します。

### (3) スクール・ポリシー

「グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）」

- 「自主」：心身ともに健康を保持し、自ら学ぶ姿勢を持って目標に向かって努力を重ねる自己研鑽力を育成します。
- 「誠実」：基礎的な学力やコミュニケーション能力を身に付け、仲間や労働を大切にし、真摯な態度で社会に貢献しようとする人間性を育みます。
- 「協和」：地域や社会の変化に目を向け、その中で自らの役割を理解し、行動できる実践力を育成します。

「カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）」

- 進路希望に応じた類型選択により、生徒のニーズに沿った学びを実現します。
  - 進路希望に応じて「教養総合」「商業実務」「文理医療」の3つの類型を設定し、進路希望実現に向けて適切な科目の設定を行います。
- 習熟度別の授業や選択科目を設定し、個々に適した学習を進めます。
  - 生徒の理解度の幅が大きい教科では習熟度別に授業を行うとともに、生徒の進路希望や学力の特性に応じた選択科目の設定を行います。
- 地域と協働し、体験的・実践的な学びを進めます。
  - 地域の特徴や関わり方について学習を進めるとともに、地域の発展に向けた課題の調査や解決策の模索を行います。

「アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）」

- 学習意欲があり、明確な目的意識をもって本校に入学を望んでいる生徒
- 基本的な生活習慣が身に付いており、社会的なきまりを守り、他を思いやる心を持ち、周囲と協働しながら課題解決に向けて努力する生徒
- 中学校において、「学級活動」「生徒会活動」「学校行事」「部活動」のいずれかで積極的に活動した実績をもち、入学後も継続して活動する意欲のある生徒

## 2 令和7年度研究開発の概要

### (1) 本校を取り巻く環境と普通科改革支援事業の必要性

本校は、「自主・誠実・協和」の校訓のもと、「地域に根ざし地域に貢献できる人材育成」を責務とし、令和4年度から、文理医療類型、商業実務類型を設置すると同時に、地域に密着した学びを目指す新たな「教養総合類型」を新設した。この類型は、学校所在地である加美町を学びのフィールドとし、人・自然・文化・産業・観光など、地域の今を知り、地域の魅力を再確認するとともに、地域が抱える課題を見出し、その課題の解決策を提案することで地域活性化の一端を担うことをねらいとしている。当該校所在地である宮城県加美郡加美町及び周辺の自治体における急激な人口減、少子高齢化が大きな要因となっており、町の活性化、人口増をいかに実現できるかが重要となっている。

加美町には自然・産業・人材など、加美町の特徴となる多様なコンテンツが存在しているが、それらをいかに加美町の魅力化・特色化、そして、町の活性化につなげるかが、今、求められている。加美町唯一の公立高校である当該校は、町の現状を踏まえ、地域課題を見出し、解決の方策を探究し、加美町を活性化させることができるような「地域に貢献する人材育成」をスクール・ミッションとしている。

地域に根差した新たな学科を設置することは、既存の普通科における学びに加え、これからの社会が求める力を育成する先進的な学びにより、生徒の資質・能力を向上させるだけでなく、地域を愛し、地域に貢献できる人材育成に、これまで以上に寄与し、加美町の活性化と「100年つづくまち創り」につながるものとする。

令和9年度から現在の普通科を「(仮称)未来創造科」と改称することが宮城県教育委員会から発表され(令和8年1月)、そこに向けた本格的な準備がスタートしている。新たな学科では、現在の「地域創造学」の取組を軸に、学校全体として加美町をフィールドとした探究活動を進め、町と学校が一体となって人材育成、地域活性化を図る。

### (2) 令和7年度実施教育課程

	1年	2年			3年		
		教養総合	商業実務	文理医療	教養総合	商業実務	文理医療
1	現代の国語	論理国語			論理国語		
2		地理総合			政治・経済		
3		日本史探究			英語コミュニケーションⅢ		
4	言語文化	数学A			化学基礎		
5							
6	歴史総合	情報処理			情報の表現と管理		
7							
8	公共	ビジネス基礎			プログラミング		
9							
10	科学と人間生活	簿記			ソフトウェア活用		
11							
12	英語コミュニケーションⅠ	地域スポーツ学Ⅰ			地域創造学Ⅱ		
13							
14	英語コミュニケーションⅠ	地域産業Ⅰ			地域産業Ⅱ		
15							
16	音楽Ⅰ／美術Ⅰ	地域防災学Ⅰ			地域防災学Ⅱ		
17							
18	家庭基礎	簿記			生活と福祉／美用国語		
19							
20	情報Ⅰ	簿記			音楽Ⅱ／美術Ⅱ／保育基礎		
21							
22	保健	保健			生活と福祉／美用国語		
23							
24	体育	簿記			生活と福祉／美用国語		
25							
26	総合	総合的な探究の時間			総合的な探究の時間		
27							
28	LHR	LHR			LHR		
29							
30		LHR			LHR		

(教育課程の説明)

1 学年では共通の科目を学び、2 学年より 3 類型に分かれる。本事業の中心となる「地域創造学」は 2・3 学年の教養総合類型の生徒が履修する。

総合的な探究の時間は各学年で、別途設定されており、全員が履修する。

### (3) 本校の取組

#### イ 学校設定教科「地域創造学」における学びの実践

教室だけでなく、加美町全体を学びのフィールドとし、加美町の自然や産業を教材とする。多様な体験学習やフィールドワークを通して、加美町の魅力や地域における課題を見出し、様々な事象やデータをもとにそれらを分析して、考察を深めていく。加美町役場・商工会・事業所・地域住民など、様々な方々に授業での講師や訪問先として協力いただき、生徒は加美町の現状と課題の把握に努めていく。その中で、課題の解決方法を探究し、具体的な解決策を提案し、可能な限り実践していくという一連の学びを通して、地域社会に貢献する人材の育成を目指していく。また、探究活動を進める素地として、自らの考えを目的や場面に応じて分かりやすく表現し、解決の過程を振り返り、主体的・協働的に取り組む姿勢を培う。

「地域創造学」は「地域産業」、「地域スポーツ学」、「地域防災学」の科目に分かれており、2 学年は I を付した科目、3 学年は II を付した科目をそれぞれ履修する。

2 学年で実施される I の科目では、加美町の産業や祭り、スポーツイベント、地域特有の災害等について体験的に学ぶことで、DX スキルをはじめとした、地域で活躍する人材に求められる技術や知識を身に付けることを目指した。そして 3 学年で実施される II の科目では、そこで培った知識技能、地域の方々とのつながりを生かし、様々な町の企画に参画する、自分たちでイベントを企画し実践するという、実際に社会で役立つ様々なスキルを身に付けることを目指した。

#### ロ 「総合的な探究の時間」における取組

第 1 学年では、加美町について理解を深め、高校生ならではの視点で課題を見つけ解決に努める「加美町研究」に取り組む。自然や産業など幅広く加美町について学び、加美町の現状を理解し、その中から課題を設定する。仮説を立てた上で、統計調査やアンケート調査、フィールドワークなどの探究活動を行う。地域の方々からの多様な意見を受け入れ、多角的な視点を持って第 2 学年の「地域創造学」の学びにつなげている。このように、学校設定教科「地域創造学」と「総合的な探究の時間」を相互に関連付けながら、地域社会に貢献できる、より実践的な力を持った生徒の育成を目指していることは、当該校の教育における先進的な取組であり、魅力の一つとなっている。

#### ハ 運営指導委員会の開催

学識経験者、外部有識者等で構成する運営指導委員会を、年 2 回開催し、事業全体の計画・運営に関して、地域との連携・協働に関して、探究的な学びを含めたカリキュラム・マネジメントに関して等、事業に関する評価をいただく。また、探究活動成果発表会において、生徒の活動への指導・助言をいただく。

## ニ 学校運営協議会（コンソーシアム）の開催

設置済みである本校の「学校運営協議会」をベースとするコンソーシアムには全体会の他に、以下の各部会を統括し、事業検証並びに協議を行う。

第1部会：学校魅力化・全国募集の検討

第2部会：学校設定教科「地域創造学」・地域連携の検討

コンソーシアムは、加美町教育委員会教育長を会長とし、加美町役場を始めとした関係機関、町内産業界、PTA 及び同窓会から選出された委員により構成する。本校からは管理職、主幹教諭、学校魅力化コーディネーターをはじめとした職員が事務局として参加した。

各委員は、「地域創造学」の講師や地域連携事業の主管となり、実際の取組に当事者として関わる。コンソーシアムでは、年に6回（全体会：年2回、第1部会：年2回、第2部会：年2回）程度の会議を行い、新学科設立に関して、従来の取組の検証と今後の発展的取組について情報共有を行い、設立に向けて建設的な検討・協議を行った。

## ホ 先進校視察

本校の抱える課題の解消や取組の発展に向けた参考として、普通科改革支援事業終了後の自走化に向けた取り組みの参考として、県外校への視察を行った。視察訪問を行った学校は以下の4校であり、非常に有意義な訪問をすることができた。

- ・岩手県立大槌高等学校
- ・岩手県立西和賀高等学校
- ・滋賀県立守山北高等学校
- ・(私立) 追手門学院高等学校

※ 今年度、本校の取組に関心を示していただき、県外より多くの学校から訪問をいただいた。これらの学校には、1月に実施した本校の「地域創造学」発表会の際、オンラインでの参加を呼びかけたところ5校から参加をいただき、生徒の発表に質問や感想をいただくことができた。

来校した学校は以下のとおりである。（○は発表会にオンライン参加の学校）

- 長野県梓川高等学校
- ・新潟県立中条高等学校
- ・岩手県立住田高等学校
- ・長野県北部高等学校
- 長野県松代高等学校
- 三重県立白山高等学校
- 鳥取県立青谷高等学校
- 沖縄県立与勝高等学校
- ・愛知県立足助高等学校
- ・静岡県立熱海高等学校
- ・岐阜県立池田高等学校

## ハ Ai GROW（アイグロー）による生徒の成長の把握

IGS 株式会社が開発した「Ai GROW（アイグロー）」は、知識理解を数量的に図る学力テストとは異なり、生徒の資質・能力と各種教育活動の教育活動における「見えない学力」「非認知能力」（コンピテンシー）を測定する評価ツールである。今年度は年間2回の測定を行い、教育活動によって、どのように生徒が変容していくかを確認した。その結果を分析することで、今後の教育活動や本事業の成果検証として活用する。

### 3 研究開発の内容

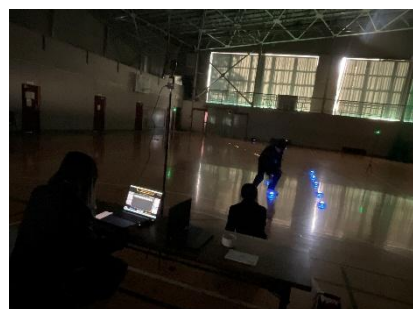
#### (1) 学校設定教科「地域創造学」

##### イ 2学年「地域産業Ⅰ」(2単位)

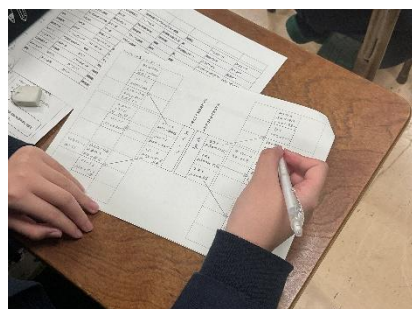
考査	月	学習項目(単元名)	学習内容	押さえるべき事項	評価の観点		
					①	②	③
前期中間考査	4月	・探究とは? ・科目オリエンテーション	・探究の基礎を学ぶ。これまでの学習方法との相違を意識する。 ・地域産業学の1年の流れをつかむ。	・探究の方法を理解している。 ・科目の活動内容を理解する。	◎	○	○
	5月 6月	【「加美町お仕事図鑑」制作プロジェクト】	★加美町の産業(仕事)の特徴や働くひとの魅力、学習を通じて感じ得たものやこれからのあり方について考察し、より多くの人々に向けてそれらを発信するためのHPを制作する。 ・産業とは何かを学び直す。 ・一次産業・二次産業・三次産業・六次産業とは何かを知る。 ・一般的な産業と加美町の産業の特徴を知る。 ・実際に産業の現場で働いている人の様子を見たり、話を聞いたりする。 ・現在の町の産業における課題は何か考える。 ・SDGsの知識を身につける。 ・SDGsの観点から、よりよい社会をつくるために現在の産業に必要な視点を考察する。 ・ノーコードを用いたHPの制作を学習する。 ・学んだ技術を活用し、町の産業の良さなどをより多くの人々に知ってもらうためのHPを制作する。 ・制作したHPを多くの人に見て親しんでもらうための方法を考える。	・産業とは何か、種類を理解している。 ・町の産業の特徴を捉えることができる。 ・HP制作を見据え、重点的に聞いたり見たりしたいことを自ら考え設定し、インタビューすることができる。 ・SDGsの17のゴールについて理解している。 ・SDGsの観点から、町の産業を社会でよりよいものにするための方法を考えることができる。 ・根拠のある工夫を考え、HPの制作に取り組んでいる。 ・より多くの人々の目に留まるような方法や工夫を取り入れている。			
前期末考査	7月				◎	◎	◎
	8月						
	9月						
後期中間考査	10月						
	11月	【町のミッションに挑戦！プロジェクト】	★加美町役場の部署から与えられたミッションに対して、最適な課題解決方法を探し、本格的に採用してもらうことを目指し、町の大人に向けて提言を行う。 ・加美町役場の各部署から与えられたミッションについて、その課題が存在している背景を学ぶ。 ・町役場関係者との話し合いを通じて、ミッションの本質を捉える。 ・これまでの学びや関係者との話し合いから、ミッションを解決するための方法を挙げる。 ・最適な課題解決方法を、仮説の設定からアクションを繰り返し行いながら見つける。 ・提言する内容を町で採用してもらうための発表を準備する。 ・探究の結果と最適なミッションの解決方法を町長を含めた町役場の担当責任者および町の大人に向けて提言発表会を行う。提言を聞いた大人からは、大人目線での意見をいただく。	・担当教員からの座学を通じ、ミッションが存在する意味や背景を理解している。 ・ミッションを主体的に解決しようとし、関係者に話を聞いたり、実際に現場を見たりしようとする行動に移している。 ・提言しようとしている内容に対して自ら仮説を設定し、PDCAサイクルを回し続けることができる。 ・提言する相手の大人が採用したくなるような内容、発表の仕方を工夫することができる。	◎	◎	◎
学年末考査	12月				◎	◎	◎
	1月						
	2月						
	3月	まとめ	これまでの活動のまとめを行う。		◎	◎	◎

加美町周辺地域を支える産業の特色について理解を深めるとともに、SDGsの観点から加美町の産業の持続可能な未来のあり方について主体的に思考し、研究実践するための素地を育成する。加美町研究や各教科で学んだ基礎的・基本的知識・技能を活かし、地方・地域の魅力や地方創生における課題に対し、探究活動を通して、解決につなげる資質・能力を育成する学校設定科目である。2学年「地域産業学Ⅰ」においては、「学校パンフレットをつくろう」「加美町調べ」「DXスキルを育成しよう」の授業に取り組み、デザイン思考やDXスキルを学び、身につけた。また、様々な外部の講師の方をお招きして授業を受け、他県の高校の生徒とも意見交換を行った。年度後半には、「加美町プロジェクト」の授業で、学んだ知識をもとに次年度の「地域産業学Ⅱ」において探究したいテーマを一人ひとり考え、企画書を作成した。

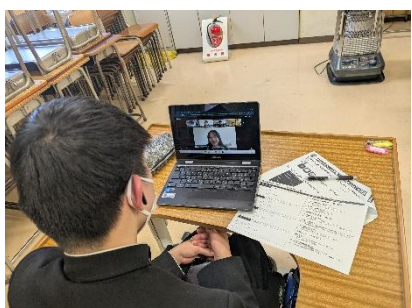
### 【DXスキルを育成しよう】



### 【東北芸術工科大学 柚木泰彦教授 講義】



### 【学校横断型探究プロジェクトオンライン合同授業】



△ お仕事図鑑

## Webデザイン お仕事図鑑

加美町の産業

後藤 百花 駒 部 はるひ 佐々木 希  
中沢 実 桜 小 山 流 空 関 心 良  
早坂 優 輝 小 杉 達 介 片 倉 伯  
鶴 谷 文 留

このプロジェクトの目的

若者の視野を広げ  
求人票だけでは見えない  
職場の魅力を伝え  
学校発お仕事図鑑を作成する



ターゲットティング

加美町在住の20代~30代の人  
自分にあった職業に就職したい人  
ストレスない職場に就職したい人  
好きなことを仕事にしたい人

それぞれの授業の概要

	Webデザイン	合成音声
8/28	デザインの基礎を知らう	AIの歴史と合成音声の基礎
9/04	UI/UXとは? Canvaの使い方	マニュアル映像の作り方
9/11	Webページを作ってみよう	声優業界とAI スタジオ紹介 声優さんによる音声収録様子(リモート)
9/18	作ったページの改善をしよう	音声の切り出し/合成音声ソフトの使い方
10/09	ページを完成させよう	合成音声を作る(映像に組み込む)
10/30	本番リハーサル/質疑応答	

お手元のQRコードから  
【お仕事図鑑】  
をご覧ください



ご協力いただいた方々

株式会社  
ジーアングル  
☎ 03-6721-9616  
東京都中央区新富1-1-1 新富ビル5F  
https://www.g-angle.co.jp

マーケティング本部 本部長  
田島 大樹 様



ご協力いただいた方々

加美町中新田  
B & G 海洋センター  
☎ 0229-25-8188  
宮城県加美町中新田東1-1-6

高橋 麻美 様



目次

01 目的	04 仮説
02 パーセプション	05 検証
03 ターゲティング	06 今後の展望
	07 ご協力いただいた方々

パーセプション

### オリジナルコンテンツを持つ DXハイスクール中新田高校

加美町限定のお仕事図鑑を作成することで、地元で働きたい人や就職先に迷っている人に加美町にある企業を知ってもらう。



仮説

若い人や地元で働きたい人をターゲットにして、他の求人サイトでは見られないような情報を作成することで、加美町の若い人の人口が減ることがなくなる。

検証 (授業の取り組み)

デザインの基礎を知らう

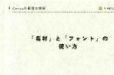
・デザインで大切なこと  
・色、文字、レイアウトの工夫

素材とフォントの使い分け

・Canvaの使い方  
・素材の使い方  
・フォントによる印象

ネット画像を使う際の注意

・画像の扱い方  
・SNS上の画像



今後の展望

・多くの若者が様々な職業に興味を持つきっかけとなる。

・地元の企業で、自分にあった仕事を見つけることができる。



ご協力いただいた方々

株式会社  
アキヤマ  
☎ 0229-63-8011  
宮城県加美町中新田東1-1-6

高橋 功樹 様  
足利 芳則 様  
佐藤 和浩 様



ご協力いただいた方々

BOULANGERIE  
ARBRE  
☎ 0229-63-2148  
宮城県加美町中新田東1-1-6

柴谷 重暁 様



△ ドローン班

プログラミング  
インドアドローンショー

- |   |  |                                      |
|---|--|--------------------------------------|
| <b>ベテルギウス</b><br>・浅野菜々美<br>・尾形雄也<br>・佐々木汰一<br>・猪股拓聖 | <b>春夏秋冬</b><br>・石橋優那<br>・高橋篤生<br>・堀籠史斗 | <b>季節</b><br>・菅原菜那<br>・島山琉大<br>・堀越勇人 |
|---|--|--------------------------------------|

このプロジェクトの目的

オリジナルコンテンツを持つ  
DXハイスクール中新田高校

- ・多くの人にドローンの魅力や可能性を知ってもらうため。
- ・中新田高校に興味を持って知ってもらうため。



ターゲティング

- ・中新田高校のドローンショーを知らない人たち
- ・ドローンのプログラミングに興味を持っている10代～20代



検証

(株) インスタントさんの講義を聞きました!	ドローンのプログラミングをやってみて	ドローンショー制作
「なぜ行っのか」「誰のために行っのか」を明確にすることが大切!	「トライアンドエラー」何度も失敗することでプログラムの使い方を覚えた「学んだことをドローンショーに活かすために」	チームで意見を出し合ったり、正解にドローンのプログラミングをしったりすることが大切!
「文化祭に来る人に向けて中高の魅力を知ってもらうために」	→ノートにまとめて復習できるようにした	「ドローンショーを成功させるために」
→ドローンテーマそれぞれが考える準備		→段階的に進めてプログラミングをした

検証 (この授業で分かったこと、身についたこと)

- ・ドローン技術の仕組みや使い方を理解できた
- ・様々な用途でドローンが活用されており人の仕事を助け、安全で効率的にできることが分かった
- ・社会の中で技術がどのように役立っているかを考えられるようになった

ご協力いただいた方々

INSTANDARD  
株式会社  
03-6868-3090  
東京都千代田区神田三軒三丁目17-3  
https://instandard.co.jp  
石井 克幸 様  
太田 悠 様

株式会社  
クローバー総研  
0229-87-8580  
茨城県神栖町高野町高野1-3-3-1  
https://cloversouken.studio.site/  
伊勢 亮 様

目次

01 目的	04 仮説
02 パーセプション	05 検証
03 ターゲティング	06 今後の展望
	07 ご協力いただいた方々



パーセプション

オリジナルコンテンツを持つ  
DXハイスクール中新田高校

高校初のプログラミング・インドアドローンショーを行ったり、ホームページや校歌のポップアレンジ動画を作成したり、これからの情報化社会を支える人材を育成する。

「自分たちの仲間を自分たちで集めるクリエイティブな中新田高校」



仮説

- ・現状中新田高校の魅力はあまり知られていない
- DXハイスクールという特徴を知ってもらえば、NAKAKOは有名になるのではないかと
- 文化祭でドローンショーを作れば、知名度を上げられるのではないかと



検証

(株) インスタントさんの講義を聞きました!	(株) インスタントさんの講義を聞きました!	(株) インスタントさんの講義を聞きました!
農業分野のドローン活用	災害・救助活動	物流・運搬
人が入れない場所にも正確に農薬を散布することができる。作業が早く・楽になるコストの削減。	人が近づけない場所を上空から確認することができる。孤立した地域へ食料や薬品を届けることができる。	小型荷物を短距離で素早く配達することができる。交通手段が限られている交通が不便な場所に配達できる。
→安全で効率的な農業ができるようになる!	→救助活動を素早く安全にできるようになる!	→人手不足の解消や環境への負担が軽減されるようになる!

今後の展望

- ドローンは今いろいろな分野で利用されている
- ↓
- ・空撮だけでなく、農業・建物や橋の点検・災害時の調査・荷物の運搬などにも活用されている。
  - ・AIで自動で飛んだり、障害物を避けたりするドローンもある。
  - ドローンは、技術改革などにより、今より更に多くの人に活用されると予想できる。

△ ドローン班

Thank you!  
ありがとうございました!

- |   |  |                                      |
|---|--|--------------------------------------|
| <b>ベテルギウス</b><br>・浅野菜々美<br>・尾形雄也<br>・佐々木汰一<br>・猪股拓聖 | <b>春夏秋冬</b><br>・石橋優那<br>・高橋篤生<br>・堀籠史斗 | <b>季節</b><br>・菅原菜那<br>・島山琉大<br>・堀越勇人 |
|---|--|--------------------------------------|



△ 音声合成班

## 中新田高校 オリジナルコンテンツ 鳴瀬秋緑 音声合成制作

加藤 崇大  
野田 樹太  
佐々木 斗希  
早坂 悠真

佐々木 雅香  
早坂 希希  
坂野 希空  
坂野 希空

千坂 彩幸  
本田 愛里  
西塚 愛斗



### 目的

今後の中新田高校の活動や学校PRなど、いろいろな場面で音声合成を活用していきたい。

学校オリジナルキャラクターの合成音声を生徒は誰でも利用できるようにする。



### ターゲット(合成音声を使ってもらいたい人たち)

情報化社会で新たな発信をクリエイティブしたいと考える人

自分の考えを世界に発信したいと考える人  
面白いと思ったことを発信したい人  
動画コンテンツを作成したい人



### 検証(今回の授業の取り組み)

#### 声優さんによる 合声収録見学

およそ300時間のセリフを録っていた。キャラクタの声を一つずつ収録するの作業は決して楽ではない。変わらないように努力している。



#### 音声の切り出し 合成音声ソフトの使い方

Text to speech  
vs ボイスチェンジャー  
両方を使ってみて、違いを学ぶ。



#### 合成音声を作る 映像に組み込む

AI音声を使ってアニメーションを入れた。映像と音声のタイミングを合わせたりする。



### 検証(今回の授業の取り組み)

#### 動画作成してみて

AI音声を使うことで、自分の声を発音しなくても作れる。聞きやすい動画が作れるようになった。動画制作の大変さを感じたが、言葉が通じやすくなり、制作の楽しさを感じた。今後の授業や表現活動にも活かしたい。

#### 音声合成を使ってみて

音声合成を体験している。様々な会社には、様々な用途がある。それを使うことで、自分の声やキャラクターの声を再現できる。また、自分の声やキャラクターの声を再現できる。また、自分の声やキャラクターの声を再現できる。

#### 授業全体を受けて

自分が当たり前の知識として持っている。AI音声の仕組みを学ぶことができた。声優さんの大変さや苦労をたくさん知った。切り取って合成音声にするまでの大変さを理解できた。スライド制作において考えなければいけないことが多く、習得したことが多かった。

### 今後の展望

音声合成の授業を行って、音声合成に関する知識や理解が深まり、その学びを活かして動画を制作した。そして、音声合成について学んでいく中で新たに発見した課題は、音声合成を便利にする。思ったようには喋ってくれないということだ。音声合成は、機械的を繰り返すので、どうしても人間とは少し違った喋り方になってしまう。また、漢字などを誤読すると、意図していない喋り方で話してしまうこともある。そして、その解決策としては、音声合成を提供する会社にはそれぞれ特徴があるので、いろいろな音声合成の会社を試してみ、自分の理想の喋り方をしてくれる会社を探し出すことだ。また、どのような設定で行えば喋り方を理想に近づけるのかを、実行確認していくことで解決していくことも大切だと分かった。

### ご協力いただいた方々

株式会社  
ジーアングル  
03-6721-7900  
https://www.g-angle.co.jp

プロデュース 加藤 崇大  
クリエイティブディレクター  
新藤 佑太 様  
マーケティング 本原 真  
田崎 大樹 様  
オウンドメディア 佐藤 健  
美術 長岡 太一 様  
プロデュース 加藤 崇大  
松本 明菜 様  
松井 輝弥 様

### 目次

- 01 目的
- 02 パーセプション
- 03 ターゲティング
- 04 仮説
- 05 検証
- 06 今後の展望
- 07 ご協力いただいた方々



### パーセプション(中新田高校の持ってもらいたい印象)

オリジナルコンテンツを持つ  
DXハイスクール中新田高校

高校生のプログラミング・インドア・ドローンショーを行ったり、ホームページや授業のアプリ開発などを通して、これからの情報化社会を支える人材を育成する。

「自分たちの仲間を自分たちで築める  
クリエイティブな中新田高校」



### 検証(今回の授業の取り組み)

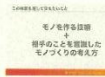
#### AIの歴史と合成音声の基礎を学ぶ

AIは、人間が行っていた仕事や作業を自動化している。自動化を実現するために、AIの学習やデータの処理などが必要だ。



#### マニュアル映像の作り方

今後様々な人が使うことを想定し、間違えやすい方を避けて、わかりやすいマニュアル映像を作りたい。



#### 声優業界とAIスタジオ紹介

RVC: 音声、楽曲、話し方などをデータに変換し、AIで再現する。データからAIで再現する。



### 検証(ルール動画)



### 検証(今回の授業の取り組み)

今回の授業では、株式会社ジーアングルの方々に音声合成がどのようなものなのか、どのように扱えばいいのかなどを学び、その学んだ内容を活かして、中新田高校のオリジナルキャラクターである鳴瀬秋緑の音声を作成し、その使用に関する注意動画を制作した。また、鳴瀬秋緑の音声合成制作にあたり、音声合成班、動画班、プレゼン班に分担して作業を行うことで、動画を制作しつつ、合成音声を動画内に入れ込むなどの作業を効率的に進めることができた。

### 今後の展望

- ボイスチェンジャーでの使用  
:スペックの高いPCが必要。現時点では校内での使用は難しい。
- Text to speechでの使用  
:Artistというソフトを使う。感情の表現やイントネーションの調整が難しい。スキルを磨く必要がある。

△ 音声合成班

Thank you!  
ありがとうございました!



加藤 崇大  
野田 樹太  
佐々木 斗希  
早坂 悠真

佐々木 雅香  
早坂 希希  
坂野 希空  
坂野 希空

千坂 彩幸  
本田 愛里  
西塚 愛斗

戦争歴史展

## Webデザイン 繋げ！カミガミの声

歴史継承

石川杏奈 千原綾乃 槍野純音  
高橋岳大 千原天爵 狩野彪彦  
千田和真 佐藤蓮

---

このプロジェクトの目的

戦争の体験談を集め、それを途切れさせず後世に継承していく

- 戦争の歴史を風化させないようにするため
- 過去の体験談をもとにして、よりよい未来になるようにするため

---

ターゲット

- 戦争を知らない10代~20代の人たち
- 戦争の歴史を継承、記憶を残したい人たち
- 戦争中の人々の生活を知りたい人たち

---

検証 (授業での取り組み)

年々戦争を知らない私たち学生や若い人たちが増えているので、加美町在住の戦争を経験した方々に戦時中の体験談を聞いた。

---

門島護さん (90歳)

戦時が早く終わっていいのは良かった。戦争 (開戦の瞬間) で台風がきてこの島を「海軍」も奪った。

運のいい人が大津波もみんな幸い、最初で戦争へ行った。運が悪くはなかった。戦時よりも先に気づきを行なったことがなかったため、あたりを歩いてた。

長男はとんとん減っていった。戦争をやってもうれいこと、たのしいことはない。

---

今後の展望

- このホームページを通じてたくさんの人に当時の生活や大変さを知ってもらおう。
- ホームページを見た人に戦争を自分事として捉え、平和の大切さを考えてもらおう。
- 戦争の歴史を風化させないようにする。

---

ご協力いただいた方々

株式会社  
ジーアングル  
03-6721-7900  
東京都目黒区青森1-13-4 電話受付 020-8700-0000  
https://www.g-angle.co.jp

マーケティング本部 本部長  
田島 大樹 様

目次

- 01 目的
- 02 パーセプション
- 03 ターゲッティング
- 04 仮説
- 05 検証
- 06 今後の展望
- 07 ご協力いただいた方々

---

パーセプション

オリジナルコンテンツを持つ  
DXハイスクール中新田高校

戦争を体験した人から当時の体験談を聞いてその情報をまとめたホームページを作成し、当時の記憶を風化させないように次世代へ繋ぐ

「戦争を生きた人たちの声を繋ぎ、未来へ語り継ぐ中新田高校」

---

仮説

戦争を経験していない若い世代の興味は薄れるし、戦争の歴史や記憶を知る人が減り、継承していく人がいなくなってしまふ

↓

戦争を知らない世代に戦争の歴史を具体的に身近に起こったこととして伝えることができれば、少しでも戦争の歴史に興味をもってくれるのではないかと。

---

ホームページ




---

授業を通して

- 「日本もいつか戦争になるかもしれない」と戦争のことを自分たちのこととして考えることが大切
- 過去を振り返るだけでなく未来を考えることが大切

---

ご協力いただいた方々

情報を提供して  
くださった方々

門島 護 様  
佐々木 英壽 様  
佐々木 美佐子 様  
佐藤 翔太 様  
佐藤 ミヤ 様  
渋谷 広 様  
柳川 健次 様  
常盤 れい 様  
岡岡 敏裕 様

---

戦争歴史展

Thank you!  
ありがとうございました!

石川杏奈 千原綾乃 槍野純音  
高橋岳大 千原天爵 狩野彪彦  
千田和真 佐藤蓮

□ 3学年「地域産業Ⅱ」（3単位）

考查	月	学習項目(単元名)	学習内容	押さえるべき事項	評価の観点		
					①	②	③
前期中間考查	4月	【地域創造プロジェクト】（通年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入</li> <li>・フィールド調査</li> <li>・仕事役割決め</li> <li>・営業スケジュール設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人でアイデア出し→魅力あるものを選定していきグループ化（個人事業になっても可）</li> <li>・既存産業や「100年つづくまちづくり」コンセプトに基づいて構想</li> </ul>	◎	◎	◎
	5月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備、検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やってみたい」事業は部分的であっても掛け持ちを可とする</li> <li>・「常設」「イベント」が並列することを想定</li> </ul>	◎	◎	◎
	6月				◎	◎	◎
前期末考查	7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレ運営（Ⅰ期）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「常設」「イベント」が並列することを想定</li> <li>・必要に応じて外部講師に協力を仰いだり、町の組織と連携を取りながら実施を進める</li> </ul>	◎	◎	◎
	8月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラッシュアップ期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて外部講師に協力を仰いだり、町の組織と連携を取りながら実施を進める・Ⅰ期をふりかえり、専門性や検証を行う機関とする</li> <li>・日本政策金融国庫からの出張授業等も活用</li> </ul>	◎	◎	◎
	9月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・Ⅱ期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて外部講師に協力を仰いだり、町の組織と連携を取りながら実施を進める</li> <li>・Ⅱ期のふりかえりを行う</li> </ul>	◎	◎	◎
後期中間考查	10月				◎	◎	◎
	11月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・Ⅲ期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて外部講師に協力を仰いだり、町の組織と連携を取りながら実施を進める</li> <li>・Ⅲ期のふりかえりを行う</li> </ul>	◎	◎	◎
学年末考查	12月				◎	◎	◎
	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業（決算）報告準備・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表に向けて準備</li> <li>・会の運営・実施も生徒主体で行う</li> </ul>	◎	◎	◎	
	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会</li> </ul>		◎	◎	◎	

加美町周辺地域を支える産業の特色について理解を深めるとともに、SDGsの観点から加美町の産業の持続可能な未来のあり方について主体的に思考し、研究実践するための素地を育成する。

探究の見方・考え方を働かせながら、加美町研究や各教科で学んだ基礎的・基本的知識・技能を活かし、地方・地域の魅力や共通する課題に対し、自発的かつ積極的に探究活動を通してその発信や解決していくための資質・能力を育成する学校設定科目である。3学年「地域産業学Ⅱ」においては、「仕事創り」の授業に取り組み、加美町の課題を発見し、解決するための施策を考え実行し、学びや気づきを得た。また、様々な外部の講師の方をお招きして授業を受け、他県の高校の生徒とも意見交換を行った。

### 【子供イベント】



### 【コロッケ】



【ツアー】

### 秋

- 1 古川駅
- 2 加美町の森を歩く  
パタゴニアツツ
- 3 稲刈り体験  
見物でも収穫もできる  
お米の収穫体験ツアー
- 4 大木川川下  
アサギカキキャンプ場
- 5 南郷の湯  
手打ちそば 鮎川  
100%手打ちそば  
古川駅

### 冬

- 1 古川駅
- 2 KAMIFUJITE ランチ  
ここでしか味わえない  
加美の味、加美の思い出
- 3 やくらい温泉の湯  
やぐらい温泉の湯  
お湯がおいしい
- 4 やくらい温泉  
湯あがり  
湯あがり
- 5 たびの宿 やくらい林泉館  
湯あがり
- 6 やくらい温泉センター  
ここでしか味わえない  
加美の味
- 7 古川駅

アユー-READY?  
すぐ行ける加美町で  
のんびり癒されませんか

古川駅から徒歩5分

〒981-4242  
宮城県加美郡加美町一本町553-1  
☎0229-25-4150  
営業時間：昼の部11:30~14:30  
夜の部17:30~20:00  
(会費のみ)

〒981-4375  
宮城県加美郡加美町柳ヶ敷東車庫  
1-70  
☎0229-97-8756  
営業時間：昼食時間09:00~21:00  
夜食部 平日11:00~19:30  
休日11:00~20:00

### 春

- 1 古川駅
- 2 加美町歴史館  
加美町の歴史  
ご見学ください
- 3 陶芸体験  
土から生まれる  
お花の器
- 4 陶芸の里ゆへらんど  
心も体も  
ほっと癒
- 5 加美の里ゆへらんど  
加美町の歴史  
ご見学ください
- 6 古川駅

### 夏

- 1 古川駅
- 2 やくらいウォーターパーク  
夏休みならではの  
水遊び
- 3 やくらいパーク  
ここでしか味わえない  
加美の味
- 4 加美の里ゆへらんど  
自然を癒しながら  
お花の器
- 5 加美の里ゆへらんど  
自然を癒しながら  
お花の器
- 6 古川駅

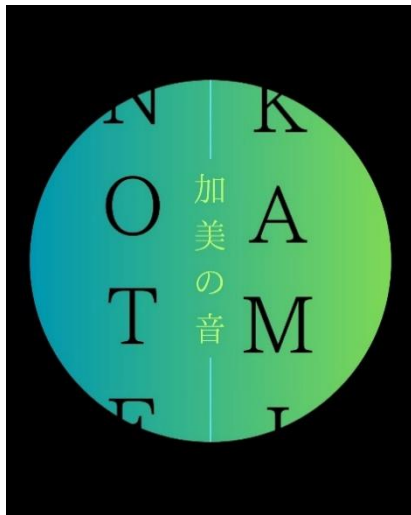
アユー-READY?  
すぐ行ける加美町で  
のんびり癒されませんか

古川駅から徒歩5分

〒981-4411  
宮城県加美郡加美町宮崎切込2番70  
☎0229-69-6900

〒981-4372  
宮城県加美郡加美町加美東車庫  
1-333  
☎0229-68-1123  
営業時間：平日13:00~19:00  
祝日は10:00~19:00  
休日は：毎月第2・4日曜日  
(祝日の場合は翌日)

【SNS】



△ 0000

## 加美町おすすめスポット 紹介アカウント 「加美NOTE」

内海匠吾 相澤花奈 吉内世那  
村上尚美 小林祐希



### このプロジェクトの目的

問題の解決方法

SNSを使う・自治体を動かす・観光地を増やす  
→私達高校生が扱える、SNSを選択  
動画で宣伝したいのでInstagramを使うことに



### 計画

#### 投稿時間

木曜日の夜9時→地域産業Ⅱの授業時間内に変更

#### 運営方法

中学生によるInstagram投稿

#### アカウント名

加美NOTE

#### 投稿内容

加美町の飲食店紹介など

### アカウント名・アイコン

アカウント名には  
「加美」を入れたい  
学生らしさを出したい



加美NOTE(加美の音)に決定

### ばーばの家

- ・初投稿
- ・ノートイメージしたデザイン

閲覧数 952

いいね数 16

2025年7月17日投稿



### いろは食堂

- ・楽しそうな感じを前面に
- ・取材の様子を見せて高校生がやっているのをアピール

閲覧数 267

いいね数 10

2026年1月13日投稿



### 検証



#### いいねの数は



### ご協力いただいた店舗

ばーばの家	〒911-4241 宇治郡川原町加美町山崎1-5-1
ピッチャーネ	〒911-4165 宇治郡加美町加美町2-9-9
あさりん	〒911-4141 宇治郡加美町加美町3-1-1
菓子職人	〒911-4214 宇治郡加美町加美町9-9-3
栄楽	〒911-4165 宇治郡加美町加美町2-3-1
ARBRE	〒911-4141 宇治郡加美町加美町3-3-3
福屋煎虎	〒911-4141 宇治郡加美町加美町1-1-1
いろは食堂	〒911-4214 宇治郡加美町加美町6-3-4

### このプロジェクトの目的

加美町の問題

住民が減っている・観光客が少ない



### このプロジェクトの目的

#### 目標

加美町のお店の紹介をして、ゆくゆくは  
加美町の企業から宣伝の依頼をもらう

### 仮説

高校生がSNSで加美町のことを発信  
↓  
多くの人が投稿を見る  
↓  
居住者・観光客が増える  
↓  
いろんな企業から依頼が来る

### アカウント名・アイコン



アイコン  
緑を基調にして自然を  
イメージしたデザインに

### あさりん

- ・動画冒頭にハイライトを流す
- ・撮写多め

閲覧数 269

いいね数 7

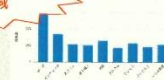
2025年9月16日投稿



### 検証

初投稿にいいねが多くついた  
→新しいアカウントへの期待感

しかし  
2本目以降閲覧数  
が半減



### まとめ

一年間アカウントを運営した結果  
企業から依頼が来るほどのアカウントにはできなかった  
【成果】  
投稿を伸ばすには自分たちの特性を活かした内容にする必要があると  
わかった。  
高校生を軸に出す・高校生らしいユーモアの編集・高校生の目線等

△ 1111

Thank you!  
ご静聴ありがとうございました!  
!加美NOTEチェックしてね



△子どもイベント班

Happy Kamiland  
～ワクワクな世界への扉～

高橋 暁 猪股 圭介 菊田 結愛 鈴木 梨央

活動の背景と目的

・人数制限により児童館を利用できず、放課後に子どもが一人で過ごすため、保護者が安全面に不安を感じている。

・子どもと保護者が安心して過ごすことができ、自由に利用できる遊び場や施設が不足している。

仮説

「子どもと保護者が一緒に参加できる定期イベント」を開催することで、安心して過ごせる場を作ることができるのではないか

活動内容

4月29日(火) 初午祭り

〈イベント内容〉  
折り紙、輪投げ、ボーリング

- ・会場の準備と片付け
- ・呼びかけ、案内
- ・遊び方の説明
- ・アンケートの実施

活動内容

9月21日(日) 東北工業大学主催のイベント  
(かみの暮らし箱リーディングプロジェクト)

〈イベント内容〉  
植物を使ってしおりを作る

- ・会場の準備と片付け
- ・植物を箱む手伝い
- ・作り方の手順の説明
- ・しおり作りが終わった子どもたちの対応

活動内容

10月4日(土) LEGO、樹脂粘土ストラップ作りのイベント

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 〈LEGO〉             | 〈樹脂粘土ストラップ作り〉      |
| ・会場の準備と片付け         | ・会場の準備と片付け         |
| ・子どもたちと一緒にLEGOで遊んだ | ・作り方の手順の説明         |
| ・完成したLEGOの写真を撮った   | ・樹脂粘土を使ってストラップを作った |
| ・来場者数の確認           | ・完成した作品の写真を撮った     |
| ・アンケートの実施          | ・来場者数の確認           |
|                    | ・アンケートの実施          |

活動内容

10月11日(土) みんなのりのハビロック2025  
～Let'S SHARE happy times!～

- ・会場の準備と片付け
- ・子どもたちに動物園をテーマにお絵かきをさせた
- ・クレヨンやシールを使って子どもたちが自由に制作をした
- ・会場の準備や片付け
- ・子どもたちが踏かないように、道に落ちている大きい木の枝や石を端に寄せた

目次

01 活動の背景と目的	04 結果・考察
02 仮説	05 今後の展望
03 達成目標	06 ご協力いただいた方々

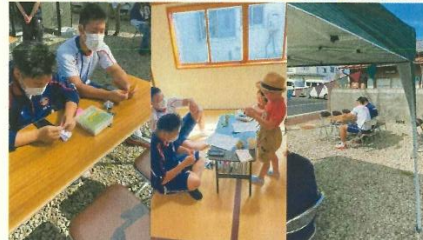
活動の背景と目的

イベントを通して  
子どもと保護者が  
安心して過ごせる場所を作る

達成目標

〈大目標〉  
目標来場者数概400人のうち満足度80%

〈小目標〉  
Ⅰ期(6月3日～夏休み)⇒7月10日にLEGOイベントを行い、中高生が行っているイベントの認知度を高める  
Ⅱ期(9月4日～10月7日)⇒2週間に1回イベントを行う  
10月4日にイベントを開催(LEGO・樹脂粘土ストラップ作り)  
Ⅲ期(10月9日～11月27日)⇒11月2日にイベントを行う



活動内容

12月14日(日) 自然のもので絵を描こう!～もりのえかきさん～

- ・会場の準備と片付け
- ・子どもの作品作りのサポート
- ・来場者数の確認
- ・アンケートの実施

結果

4月29日(火)⇒初午祭り

- ・折り紙を折って子どもたちを楽しませた
- ・ポーリングブースを作り子どもたちと楽しんだ
- ・ルールを説明しても年齢によっては自由にやってしまうのでしっかり見ていないといけない。

結果

10月11日(土)⇒みんなのもりのハピロック2025  
～Let'S SHARE happy times!～

- ・子どもたちに絵を描いてもらったり、一緒に描いたりした
- ・絵だけではなく、シールも使用し、子どもたちを楽しませた
- ・コロッケ班と一緒にイベントに参加した
- ・予想よりも多くの子ももたちが来てくれた

考察

仮説の検証

イベントに参加した子ども・保護者の満足度が100%であることから、子どもと保護者が一緒に参加できる定期イベントを開催することは安心してすぐせる場づくりに繋がる第一歩である。  
(検証の継続が必要)

考察

よくなかったこと・できなかったこと

- ・企画、計画が遅かった。
- ・広告、宣伝が足りず、動員数が少なかった。
- ・来場者数400人目標未達(総数60人)

今後の展望

子どもたちが時間を忘れて楽しく遊べる場所をさらに充実させ、保護者や子どもたちの満足度を高め、この町で子育てをしたいと思える環境づくりを目指す。



- ・保育園、幼稚園、小学校、地域団体と協力し、より多くの子どもたちが参加できる機会を増やす。
- ・子どもの目線に立ったイベントづくり、安全で安心して遊べる環境の整備、アンケート結果を生かした継続的な改善を行い、地域に根付いた活動へとつなげていく。

Thank you!

ありがとうございました!



結果

10月4日(土)⇒LEGO、樹脂粘土ストラップ作りのイベント

〈来場者数〉		〈満足度〉	
LEGO	ストラップ作り	LEGO	ストラップ作り
子ども:18人	子ども:16人	子ども:100%	子ども:100%
保護者:12人	保護者:8人	保護者:100%	保護者:100%
計:30人	計:24人		
↓			
合計:54人			

結果

12月14日(日)⇒自然のもので絵を描こう!～もりのえかきさん～

〈来場者数〉		〈満足度〉	
子ども:3人	子ども:100%		
保護者:3人	保護者:100%		
計:6人			

考察

良かったこと・できたこと

- ★全イベントに参加した子ども・保護者の満足度100%達成!
- ★初午祭や森フェス、加美の暮らし箱などに参加し、イベントの内容や子どもとの関わり方、周りの大人との連携の仕方を学べた。

考察

こうすれば良かった...!

- ★日時、場所決めやチラシの配布などを早めにする
- ★SNS班に積極的にお願いして、イベントを宣伝してもらおう
- ★イベントの名前に「～祭」と入れておけばもっと来やすい印象になったかも...

ご協力いただいた方々

- ・中新田高校の先生方
- ・中新田公民館
- ・中新田小学校
- ・中新田幼稚園
- ・小鳩幼稚園
- ・NOVAバイリンガル加美中新田保育所
- ・えがおのはなさくみんなのほいくえん

コロッケ班

## 中新田高校 かみころっぺ制作

玉岡城人 高橋日英 高橋心花 二階堂遙



### 目次

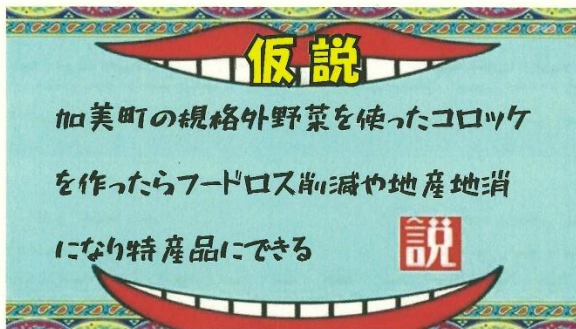
- |              |               |
|--------------|---------------|
| 01 背景（現状・課題） | 05 今後の展望      |
| 02 目的・達成目標   | 06 ご協力いただいた方々 |
| 03 仮説        | 07 キャラクター紹介   |
| 04 結果        |               |

### 背景

加美町の規格外野菜が  
フードロスになっている  
加美町の地域の特産品が少ない

### 目的、達成目標

## フードロス削減 地産地消 特産品を創る



### 検証





### 結果

- ・8回のイベントで販売し、たくさんのフィードバックをもらうことができた
- ・ほぼ全てのイベントでプラスの利益を出すことができた

収入		利益	
11月8日	かみの暮らし箱 ¥3,800	11月8日	中高祭 ¥28,843
11月20日	クリスマス会 ¥18,700	11月20日	かみの暮らし箱 ¥14,435
12月4日	えがいのほなこく みんなの保育園 ¥4,950	12月4日	えがいのほなこく みんなの保育園 ¥2,473
<b>収入合計</b>	<b>¥31,800</b>	<b>利益</b>	<b>¥42,721</b>

### アンケート結果

コロッケの味はどうでしたか?  
52件の回答



美味しかった 86.5%  
どちらかという  
美味しかった 7.7%

#### お客様からの意見

- ・さくさくの衣だった
- ・まるでプロがつくったかのような美味しさだった
- ・肉の旨味とじゃがいもの優しい甘みがした



### まとめ

おいしいレシピを開発  
1000個分以上のフードロスの解消  
アオステ優勝

### ご協力いただいた方々

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| じゃがいも<br>早坂 俊光 様               | Cooking studio who's<br>料理研究家<br>早坂 せいこ 様 |
| 五ねぎ<br>尾出 秀彦 様                 | JJA加美よつば農業協同組合<br>営農販売部 園芸課<br>浜谷 剛介 様    |
| なぎ<br>タカノ一産株式会社 様              | 宮城県北部保健福祉事務所<br>食品衛生班 疫病科主任室<br>山田 京平 様   |
| おだしまがーく<br>有限会社 南郷肉畜産 様        | 野菜の調達<br>早坂 早苗 様                          |
| ざつまいも<br>リロカリコクリ株式会社<br>米津 匠 様 |   |
- その他約40人の方々本当にありがとうございました!

### キャラクター紹介

## 「はまちゃん」

加美町生まれ加美町育ち

三度の飯より  
コロッケが大好き

12月21日生まれ



### △コロッケ班

Thank you!

ありがとうございました!

玉岡誠人 高橋日葵 高橋心花 二階堂蓮





概要

- ・ オープンスクールでのツアーガイド
- ・ ツアープランを考えた
- ・ パンフレット作り



このプロジェクトの目的

賑わう町にする  
(町外、県外から沢山の人に来てほしい!)



8/30(土)  
小学生対象  
イベント

小さな子どもでも楽しめる  
カヌー体験が  
参加した小学生からも、  
保護者の方々から大好評でした!



9/18(木)  
オープンスクール  
下見動画

やくらいガーデンに下見に  
行きましたので  
オープンスクールでも  
好評でした!!

分析1 全国募集オープンスクール 1回目

- 事前準備不足
- 加美町の観光情報準備不足
- ガイド中の記録X
- 積極的に話すX
- 臨機応変に対応O
- 時間通りに進められた



分析2 全国募集オープンスクール 2回目

- 事前準備不足
- 時間内に学校案内O
- ガイド中の記録X
- 積極的に話かけることができた
- 相手の様子を見ながら、  
興味がありそうなこと  
について話しかけることができた



目次

01 概要	06 分析
02 背景(現状・課題)	07 結果
03 目的・達成目標	08 考察
04 活動内容	09 パンフレットについて
05 検証	10 ご協力いただいた方々

このプロジェクトの背景

- ・ 加美町の観光地があまり知られていない
- ・ やくらいに行く道中に観光スポットがない  
→道中に楽しみを見つける



活動内容

- 1 ツアールートに組み込む  
予定候補地の下見。
- 2 下見の結果を踏まえて  
ツアー作成。
- 3 全国募集オープンスクールの  
ルート作成・ガイド。
- 4 ツアーパンフレット作成



7/17(木)  
オープンスクール  
CM撮影

実際にカメラ体験を  
してきました!  
オープンスクールには多くの方に  
参加していただきました!

検証1 全国募集オープンスクール 1回目  
東京2組(中3と中2)、岩手1組(中3)参加オープンスクール

【ツアー内容】

- ・ 中高案内
- ・ アパート内見
- ・ カヌー体験
- ・ ヒッチョーネでランチ
- ・ 「かみ〜こ留学生」のお話
- ・ 可歩き

【良かったこと】

- ・ カヌー体験
- ・ 可歩き



検証2 全国募集オープンスクール 2回目  
東京1組(中3)参加オープンスクール

【ツアー内容】

- ・ 中高案内
- ・ アパート内見
- ・ ヒッチョーネでランチ
- ・ 「かみ〜こ留学生」のお話
- ・ やくらいガーデン
- ・ やくらい土産センター

【良かったこと】

- ・ やくらいガーデン
- ・ やくらい土産センター



検証3 全国募集オープンスクール 3回目  
東京2組(中3と中2)参加オープンスクール

【ツアー内容】

- ・ 中高案内
- ・ アパート内見
- ・ カヌー体験
- ・ ヒッチョーネでランチ
- ・ 「かみ〜こ留学生」のお話
- ・ 可歩き
- ・ バスケ部試合観戦

【良かったこと】

- ・ カヌー体験
- ・ 可歩き



分析③ 全国募集オープンスクール 3回目

- 事前準備不足
- ガイド中の記録X
- 時間が少し押ししまった
- 保護者の方と積極的に話すことができた
- 質問をいただいた時に今までの経験を通して答えることができた
- 助っ人の協力により良いツアーにできた



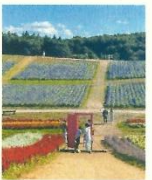
考察

- 「カヌーが楽しかった」  
→ 加美町にしかないスポーツに触れる  
なかなか体験できない
- ↓
- もう一度体験したい・加美町を訪れたい
- 「充実した内容だった」  
→ 普段と違う環境で一日を過ごす
- ↓
- 入学後の生活がイメージできる



考察

- 県外から人を呼び、ガイドを行った○
- ↓
- 販わう町にはなっていない



パンフレットについて



ご協力いただいた方々

加美町教育委員会  
教育総務課  
学校魅力化推進係  
係長  
☎0229-63-3111

田中周治様



ご協力いただいた方々

ARBRE

☎0229-63-2148  
宮城県加美郡加美町南町33



ご協力いただいた方々

やくらい  
土産センター

☎0229-67-3011  
宮城県加美郡加美町味ヶ袋養来原 1-67



結果 (全国募集オープンスクール参加者からの感想)

- ・カヌーに興味が湧いたからもう少し知ってみたい
- ・充実した内容でした。質問もしやすかった。
- ・このまま継続して買いたいです!
- ・先生も生徒も楽しかったし、話しやすかった。
- ・カヌー体験など、他の高校ではやっていない体験をさせてほしいと思いました。
- ・生徒の方でも積極的に話しかけてほしいです!
- ・生徒のみならず学校のことや町のことをご案内してくだざりとてもよかったです! (あたたかく迎えてくださりました!)



考察

- パンフレットから興味を持つ人を増やす
- ↓
- 販わう町に近づく



パンフレットについて



ご協力いただいた方々

加美町中新田  
B&G海洋センター  
☎0229-25-8188  
宮城県加美郡加美町米袋崎酒川 16



ご協力いただいた方々

あさりん

☎0229-63-3261  
宮城県加美郡加美町南町97-1



ご協力いただいた方々

やくらいガーデン

☎0229-67-7272  
宮城県加美郡加美町味ヶ袋養来原 1



ご協力いただいた方々

ピッチョーネ

☎0229-87-3933  
宮城県加美郡加美町矢越 388-3



八 2学年「地域スポーツ学Ⅰ」（2単位）

考査	月	学習項目(単元名)	学習内容	押さえるべき事項	評価の観点		
					①	②	③
前期中間考査	4月	1 地域スポーツ総合演習Ⅰ (1)実習① 「スポーツイベント運営実習Ⅰ」	・加美町で行われる「ドラゴンカヌー大会」「ツール・ド・347」について、その競技ルールや準備等の運営の実際を理解する。 ・大会実施に向けた準備や宣伝広報等に携わり、大会を成功させるための工夫を考える。	・加美町で行われる「ドラゴンカヌー大会」「ツール・ド・347」に主体的に参加し、運営に携わろうとする。	○	◎	◎
	5月	(2)実技① 「カヌー基礎Ⅰ」	・カヌー（レジャー艇）の構造及び名称、乗降艇、パドルワーク（基本動作）など、カヌーの基礎的な知識を理解する。 ・カヌーを扱う基本的な動作を実践し、身に付ける。	・カヌーの構造及び名称を理解している。 ・カヌーを扱う基本的な動作を理解している。	◎	○	○
	6月	(3)実技② 「ニューススポーツ」	・ニューススポーツの意義およびルールについて学び、基本的な動作を実践する。	・ニューススポーツの意義およびルールについて理解し、基本的な動作を実践できる。	◎	○	○
前期末考査	7月	(4)実習② 「スポーツイベント運営実習Ⅰ」	・大会当日の運営補助に関わり、スポーツを通じた地域交流の仕組みを理解する。 ・イベント参加者に対しアンケート調査を実施する。	・スポーツの「する」「みる」「支える」など、様々な立場から関わろうとする。	○	◎	◎
	8月	(5)まとめ	・前期期末を振り返って加美町の理解を深めたところや、自分自身の成長となったところを振り返り、まとめる。	・スポーツを通して加美町の理解を深め、自分自身の成長を振り返る。	○	◎	○
	9月	2 地域スポーツ総合演習Ⅱ (1)実技③ 「ロードバイク基礎」	・ロードバイクの構造及び名称、乗降、ペダルワーク（基本動作）など、ロードバイクの基礎的な知識を理解する。 ・ロードバイクを扱う基本的な動作を実践し、身に付ける。 ・地域で走行する際の危険箇所を認識し他者へ伝えることができる。	・ロードバイクの構造及び名称、乗降、ペダルワーク（基本動作）など、ロードバイクの基礎的な知識を理解している。	◎	○	○
後期中間考査	10月	(2)実技④ 「カヌー基礎Ⅱ」	・カヌー（スプリント艇）の構造及び名称、乗降艇、パドルワーク（基本動作）の知識と動作を理解する。	・カヌーを扱う基本的な動作を実践できる。	◎	○	○
	11月	(3)実習③ 「体育祭（LH）の企画」	・体育祭で行う種目、ルール、役割分担について考えイベントの企画・運営について理解を深める。 ・体育祭実施に向けた準備や運営方法について理解を深め、体育祭を成功させるための工夫を考える。	・体育祭種目の企画・運営方法についての話し合い活動に主体的に参加する。	○	◎	◎
学年末考査	12月	(4)まとめ	・1年を振り返って加美町の理解を深めたところや、自分自身の成長となったところを振り返り、まとめる。	・スポーツを通して加美町の理解を深め、自分自身の成長を振り返る。	○	◎	○
	1月	(5)実技⑤ 「スノースポーツ基礎Ⅰ」	・スノースポーツ（雪合戦・スノーシュー・クロスカントリースキー等）の用具及び名称、ルールなど、スノースポーツの基礎的な知識を理解する。 ・スノースポーツの基本的な動作を実践し、身に付ける。	・スノースポーツ（雪合戦・スノーシュー・クロスカントリースキー等）の基本的な動作を実践できる。	○	◎	○
	2月	(6)実習④ 「体育祭（LH）の企画発表」	・企画発表準備	・校内発表会に向けて準備を行う。 ・校内発表会の実施。 ・振り返りを行う。	○	◎	◎
	3月	まとめ	・1年を振り返って加美町の理解を深めたところや、自分自身の成長となったところを振り返り、まとめる。	・スポーツを通して加美町の理解を深め、自分自身の成長を振り返る。	○	◎	○

「自ら考え行動し、主体的に取り組む力の育成」を目的として、教養総合類型2学年が2単位履修する科目である。本校西側を流れる鳴瀬川には国体やインターハイの会場となった「鳴瀬川カヌーレーシング場」が整備されており、地元加美町ではカヌー競技の普及・振興に力を入れている。また、豊かな自然環境を生かしたサイクルロードなども整備されており、これらの地域スポーツ資源を活用しながら、スポーツによる地域振興について考えることを目的とした科目である。

2学年では、地域スポーツを実際に体験する活動を中心に授業を展開している。

#### <取組1 カヌー・ドラゴンカヌー>

カヌーの授業は全9回実施した。【5月21日（水）、5月28日（水）、6月4日（水）、6月18日（水）、7月9日（水）、10月1日（水）、10月8日（水）、10月22日（水）、10月29日（水）】授業では本校体育科教諭（カヌー部顧問）が指導者となり、一人乗りカヌーおよび二人乗りカヌーを用いてカヌー艇の扱い方やパドル操作などの基本技術から実践的な活動まで段階的に指導を行った。加美町が地域の特色あるスポーツとして推進している「カヌー」の魅力や楽しさを体験的に学ぶことができ、生徒にとって地域スポーツへの理解を深める有意義な授業となった。

また、6月4日（水）には、宮城県障がい者カヌー協会事務局長の斎藤義久様を講師として招き、障がいのある方でもカヌーを体験し、その魅力を感じることができるようにするための知識や支援の方法について学んだ。

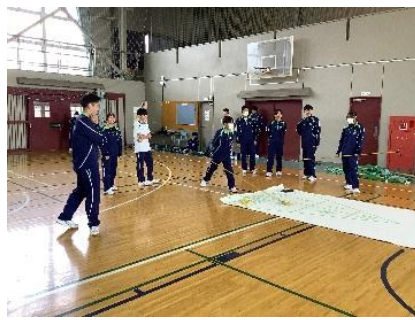


#### <取組2 ニュースポーツ>

地域スポーツへの理解を深めることを目的として、ニュースポーツの体験学習を実施した。ニュースポーツは年齢や体力に関係なく誰もが気軽に楽しむことができ、地域の交流や健康づくりにも活用されているスポーツである。

授業ではペタンクやキンボールなどの種目を体験した。ペタンクでは目標球に向かってボールを投げて距離を競う中で、加減や狙い方を工夫しながらチームで作戦を立てて取り組んでいた。キンボールでは、大きなボールを用いてチームで協力しながらプレーを行い、声を掛け合いながら活動する姿が見られた。

これらの活動を通して生徒たちはニュースポーツの楽しさを体感するとともに、スポーツを通じた交流や協力の大切さについて学ぶ機会となった。



### <取組3 ロードバイク>

ロードバイクの授業は2回実施。【11月5日（水）、12日（水）】講師としてスポーツバイクショップ BRENDA の長谷川雅也様を招き、スポーツロードバイクの基本的な取扱方法や安全な乗り方についての講義を受けた後、実際に鳴瀬川沿いのサイクルロードにて実技を行った。生徒たちは、普段使用している自転車とは異なるハンドル形状や細いタイヤに最初は戸惑う様子も見られたが、実際に走行する中でロードバイクならではの爽快感や楽しさを体験することができた。また、走行を通して加美町の豊かな自然や美しい景観にも触れることができ、地域の魅力を改めて感じる貴重な機会となった。



### <取組4 スポーツを活用した地域課題解決について（講義）>

仙台大学体育学部体育学科スポーツマネジメントコースの松井陽子様を講師として招き、スポーツイベントの企画に関する学習を実施した。講義ではイベント企画のためのフレームワークやアイデア出しのためのワークの進め方について説明があり、その後、生徒たちはグループごとにイベント企画の実践に取り組んだ。



**地域スポーツ学 I**  
**「体育祭を企画・運営しよう」**

佐々木颯吾 堀籠史斗 佐々木汰一  
 浅野菜々美 本田愛里

空青し★  
**みんな楽しむ・体育祭**

**コンセプトやイメージ・その理由**

学校全体で楽しめる体育祭にする!!!!!!  
 熱血団結

<理由>  
 みんなで楽しめる体育祭になれば、2日全力で楽しんで思い出に残るような体験になる

**コート割**

バスケ 男：ギャラリー側 女：ステージ側  
 バレー 男：ギャラリー側 女：ステージ側  
 リレー 体育館全体 (片方ずつ一人半周)  
 障害物：リレーと同じ  
 綱取り合戦・大玉：トラックの中  
 二人三脚：リレーのトラック



(2日間の場合)

1日目	2日目
8:30 各クラスでSHR	8:30 各クラスでSHR
8:45 開会式	8:50 競技開始
9:00 競技開始	午前の部
午前の部	大玉リレー (クラス)
バスケットボール (男子)	障害物競走
バスケットボール (女子)	二人三脚
昼休み 11:50-12:20	昼休み 11:45-12:20
午後の部	午後の部
バレーボール (女子)	綱取り合戦
バレーボール (男子)	クラス対抗リレー
14:40 競技終了	14:40 競技終了
15:00 清掃・SHR・放課	14:45 片付け・集計
	15:00 開会式・結果発表・表彰
	15:40-16:00 清掃・SHR・放課

- 必要なもの**
- ・ボール (バスケ・バレー)
  - ・カラーコーン
  - ・得点板
  - ・タイマー
  - ・網
  - ・クラT
  - ・ホイッスル
  - ・ピブス
- 

**現状課題**

- ・競技数が少ない
- ・運営や審判がちゃんどルールを把握していない

**この体育祭で解決できる課題・その方法**

○個人じゃなくチームや集団でできる競技を取り入れる  
 ↓  
 クラス・学年で団結することができる。

○2日間にする  
 ↓  
 競技数の少なさを運営のミス、生徒の不満が解消される。

- 必要な役割**  
 ※詳細も含め仕事わかりやすいように書く
- ・審判 (バスケ、バレー、障害物競走)
  - ・会場運営 (物の準備、コート)
  - ・実行委員
  - ・放送委員
  - ・集計係 (結果の集計)
  - ・各部活動の人達 (競技の手伝い)
- 



**当日のスケジュール**

1日の場合

8:30 各クラスでSHR	12:20~15:00 午後の部
8:45 開会式	(午後は障害物競走や綱取り合戦 対抗リレーや大玉リレーなど)
9:00 競技開始	15:00 競技終了
9:00~11:50 午前の部	15:05 片付け・集計
(午前の部はバスケ&バレー)	15:10 閉会式・結果発表・表彰
11:50~12:20 昼休み	15:40 清掃・SHR
	16:00 放課

**実施までのスケジュール**  
 ※参考までに例を載せます

作業内容	1日	2日	3日	4日	5日
準備					
実行					
片付け					
報告					
振り返り					
評価					

**⚠️ その他留意点**

- ・怪我をしないように
- ・みんな楽しめる
- ・ルールの把握を徹底する

**WARNING**

**Enjoy**

## 二 3学年「地域スポーツ学Ⅱ」（2単位）

考查	月	学習項目(単元名)	学習内容	押さえるべき事項	評価の観点		
					①	②	③
前期中間 考查	4月	1 地域スポーツ総合演習Ⅱ (班編制)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・班やプロジェクト内容を決定する。</li> <li>・かみフェス、ロードバイクツアー、中新田スポーツフェスティバル、地域ミニデイサービス等を予定している。</li> </ul>	今後を見据えて主体的に探究活動を行える班を決定する。		○	○
	5月	2 地域スポーツ総合演習Ⅱ (目標設定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業構想や目標設定を行う。</li> <li>・担当者ヒアリング</li> <li>・プロジェクト毎の活動</li> </ul>	今年度の目標を立て、実習先での活動内容について理解を深める。	○	◎	◎
	6月	3 地域スポーツ総合演習Ⅱ (スポーツイベント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト毎の活動</li> <li>・スポーツイベント実施に向けた準備や宣伝広報等に携わり、大会を成功させる活動を行う。</li> <li>・運営に関わり、スポーツを通じた地域交流の仕組みを学ぶ。</li> <li>・イベント参加者に対しアンケート調査等を実施する。</li> </ul>	加美町のスポーツイベントを参考に、企画・運営について学び活動する。	○	◎	◎
前期末 考查	7月	3 地域スポーツ総合演習Ⅱ (スポーツイベント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト毎の活動</li> <li>・スポーツイベント実施に向けた準備や宣伝広報等に携わり、大会を成功させる活動を行う。</li> <li>・イベント参加者に対しアンケート調査等を実施する。</li> </ul>	加美町のスポーツイベントを参考に、企画・運営について学び活動する。	○	◎	◎
	8月	3 地域スポーツ総合演習Ⅱ (スポーツイベント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト毎の活動</li> <li>・スポーツイベント実施に向けた準備や宣伝広報等に携わり、大会を成功させる活動を行う。</li> <li>・イベント参加者に対しアンケート調査等を実施する。</li> </ul>	加美町のスポーツイベントを参考に、企画・運営について学び活動する。	○	◎	◎
	9月	3 地域スポーツ総合演習Ⅱ (スポーツイベント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間報告会の実施</li> <li>・プロジェクト毎の活動</li> <li>・スポーツイベント実施に向けた準備や宣伝広報等に携わり、大会を成功させる活動を行う。</li> <li>・イベント参加者に対しアンケート調査等を実施する。</li> </ul>	加美町のスポーツイベントを参考に、企画・運営について学び活動する。 I期活動報告を行う。	○	◎	◎
後期中間 考查	10月	4 地域スポーツ総合演習Ⅱ (スポーツイベント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト毎の活動</li> <li>・スポーツイベント実施に向けた準備や宣伝広報等に携わり、大会を成功させる活動を行う。</li> <li>・イベント参加者に対しアンケート調査等を実施する。</li> </ul>	加美町のスポーツイベントを参考に、企画・運営について学ぶ。 加美町で持続可能な新たなスポーツイベントの立案・計画を行う。	○	◎	◎
	11月	4 地域スポーツ総合演習Ⅱ (スポーツイベント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト毎の活動</li> <li>・スポーツイベント実施に向けた準備や宣伝広報等に携わり、大会を成功させる活動を行う。</li> <li>・イベント参加者に対しアンケート調査等を実施する。</li> </ul>	加美町のスポーツイベントを参考に、企画・運営について学ぶ。 加美町で持続可能な新たなスポーツイベントの立案・計画を行う。	○	◎	◎
学年末 考查	12月	4 地域スポーツ総合演習Ⅱ (スポーツイベント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト毎の活動</li> <li>・スポーツイベント実施に向けた準備や宣伝広報等に携わり、大会を成功させる活動を行う。</li> <li>・イベント参加者に対しアンケート調査等を実施する。</li> </ul>	加美町のスポーツイベントを参考に、企画・運営について学ぶ。 加美町で持続可能な新たなスポーツイベントの立案・計画を行う。活動報告会に向けて準備を行う。	○	◎	◎
	1月	5 地域スポーツ総合演習Ⅱ (活動報告)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告会準備</li> </ul>	活動報告会に向けて準備を行う。	◎	◎	○
	2月	5 地域スポーツ総合演習Ⅱ (活動報告)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告会準備</li> <li>・活動報告会</li> <li>・まとめ(振り返り)</li> </ul>	活動報告会に向けて準備を行う。 活動報告会の実施。 振り返りを行う。	◎	◎	○

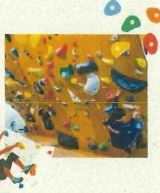
2学年「地域スポーツ学Ⅰ」における地域スポーツ実践や地域スポーツイベント運営体験をベースに、加美町で持続可能な新たなスポーツイベントを企画立案する演習を行った。

△かみフェス班  
 中新田高校  
**かみフェス2025**  
**ボルダリング体験**

---

**このプロジェクトの現状・目的**

現在、町内にボルダリングを体験できる環境がない  
 ↓  
 加美町でボルダリングを行える環境をもう一度作りたい！




---


**イベント概要**

- 日程：2025年10月13日（月）スポーツの日
- 時間：10時～14時
- 場所：鳴瀬川カヌーレーシング競技場（加美町中新田B&G海洋センター）
- 目標人数：約50人

---

**ルール説明内容**

- 体に触れてもいいか聞く
- 登っている人の下には行かない
- 1回につき1～2人登らせる
- スタッフの話聞く




---


**アンケート結果**

	1～3	4～6	7～9	10～12	13～15
年齢	4	17	13	3	1
改善点	はい	いいえ	参加人数	108	
勧めたいか	2	31	アンケート人数	33	
	31	0			

---

**安全対策**


- 待機列を作る（混雑を防ぐため）
- 待機列でストレッチをさせる
- 怪我を防ぐために身体を支える
- ホールドをしっかり固定した




---

**ご協力いただいた方々**

加美町中新田 B&G海洋センター  
 ☎0229-25-8188  
 宮城県加美郡加美町米泉 成瀬川16

高橋 麻美 様  
  
 koka-bg.com

**目次**

01 現状・目的	06 ルール説明内容
02 内容	07 アンケート結果
03 概要	08 安全対策
04 課題	09 感想
05 選んだ理由	

---

**イベントの内容**

可動式ボルダリングを使用し、ボルダリングを体験してもらう

参加者景品として、折り紙で作成した景品をプレゼントする

対象年齢：2～12歳  
 時間：3～5分




---

**課題**

- ✓ 可動式ボルダリングを立てるのに10人以上必要
- ✓ 雨でホールドが濡れてしまうので屋外でする際は天候に注意して行う
- ✓ 怪我をするリスクがある




---

**アンケート結果**

	とても満足	満足	普通	やや満足	計
満足	18	13	1	1	33
対応	25	8	0	0	33
雰囲気・設備	21	12	0	0	33

---

**アンケート結果**




---

**感想**

- 目標人数達成できた
- ボルダリングの楽しさを伝えることが出来た
- 安全対策をしっかり守ることができた
- 臨機応変に対応することができた

---

△かみフェス班

*thank you!* 

ご視聴ありがとうございました！

# 地域スポーツ学Ⅱ 地域活性化プロジェクト 活動報告書

プロジェクト名: サイクルツアー

## 活動内容

- 観光協会と打ち合わせを重ね、企画を具体化
- ロードバイクコースの作成
- サイクルツアーの試走会(3回予定)



## 目次

- 01 目的・背景
- 02 活動内容
- 03 結果・成果
- 04 考察・気づいたこと
- 05 活動のまとめ
- 06 お世話になった方・参考文献等

## 結果・成果

- ツール・ド・347への参加
- ロードバイクコース・チラシの作成
- サイクルツアーの試走会(3回)
- ツアーの動画撮影



## 目的・背景

- ① 加美町の景色や食べ物を知ってもらう
- ② 加美町観光まちづくり協会さんにコースを提供する



## ツール・ド・347へ参加



### このコースにした理由!!

- ・ちょうどよい距離で安全に走れるから
- ・田舎ならではの風景が見られるから
- ・ゆっくり走っても迷惑がかりにくいから

### このコースのおすすめポイント!!

- ・初心者でも走りやすい
- ・美味しいお団子が食べれる
- ・恋愛できるかも?

**安全第一**



## 考察・気づいたこと

- 誠人**
- ・良いツアーにするために大切なこと
- 日葵**
- ・コース作成で一番大切なのは参加者の安全
  - ・人以外のことも考えてイベントに臨機応変にしなければならぬ
- 凜**
- ・参加者が出発するかもという理由で町からの注意でイベント中止になったので天気や地域の情報が大変
- 桜花**
- ・試走会を行って、主に中野田には様々な能力的な場所があることに気づいた
  - ・久々にロードバイクに乗って、乗り方を復習することができた



## 活動のまとめ

- ・今回が試走会を行い、協会さんと打ち合わせを重ねることで商品として売っていきそうなものに仕上げることができた
- ・自分たちが作ったコース以外にも町のイベントに参加し、サイクルツアーについて知識を深めることができた



## お世話になった方

### 加美町観光まちづくり協会様

- ・ツールド347の件
- ・試走会へのご協力
- ・学校に来ていただいてアドバイスをしていただきました



## お世話になった方

### 斎藤理様

- ・一緒に試走をしていただきました
- ・安全面やハンドサインのアドバイス
- ・LEAVE NO TRACEの考え(リーブ・ノートレース)本当にありがとうございました



## お世話になった方

### 加美町中新田B&G海洋センター様

- ・ロードバイクの貸し出し
- ・加美フェス参加の申し込み手続き(参加はできませんでしたが)



## お世話になった方

### あさりん様

- ・お団子を購入させていただきました
- ・試走のときに冷たい水を用意していただきました



## お世話になった方

### 鹿島神社の宮司様

- ・鹿島神社についての説明をもらえた
- ・場所を提供してくれた
- ・縁結びのカードを作ってもらった



## 参考文献等

### おものめさま (鹿島神社)



### 加美町世間遺産のホームページ





目次

- 01 目的
- 02 概要
- 03 活動内容
- 04 結果
- 05 まとめ
- 06 ご協力いただいた方々



このプロジェクトの目的

子どもたちを中心に幅広い世代にスポーツの楽しさを知ってもらう



このプロジェクトの概要

中新田スポーツフェスティバルに参加した目的

- ・ニュースポーツに興味を持ったから
- 参加できなかった

新しく児童館でイベントをしよう!

→1期では失敗→2期で成功させた。

児童館イベント踏まえ、秋祭りのブース運営をしよう!



活動内容

前期  
後期

- 中新田スポーツフェスティバル
- ブース運営の企画作成
- 中新田児童館イベント
- ペットボトルボウリング
- 加美町秋祭り
- ペットボトルボウリング
- 加美町秋祭りボウリングに参観



結果

中新田スポーツフェスティバル

結果：大人の事情でブース運営ができなくなった。  
成果：天候や場所によって行えない時がある。対象に合わせて考える力が身についた。



結果

中新田児童館イベント（前期）

結果：実施できず。

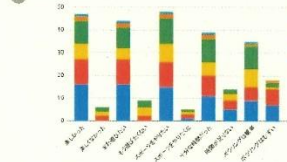
成果：企画書にはあらゆることを想定して書かなければならない



さわびくろでイベントを検討しているとき

結果

中新田児童館イベント（後期）



結果

中新田児童館イベント（後期）

結果：反省点もあったが成功  
成果：イベントを行い企画する大変さを知った



結果

加美町秋祭り

結果：想定外の事柄  
一時的配布  
スペースを効率的に使うなど工夫  
成功

成果：アドリブ力



結果

ボウリングは楽しかったですか？

6件の回答



● 楽しかった  
● 楽しくなかった

まとめ

- ・児童館での反省点を踏まえてイベントを行えた。
- ・想定外のことが起きても対応できる力が身についた

ご協力いただいた方々



健康運動指導士  
朝川忠俊さん

ご協力いただいた方々



中新田スポーツフェスティバル

ご協力いただいた方々



児童館の方々

ご協力いただいた方々



加美町秋祭りの関係者の皆様



## 地域スポーツ学Ⅱ 地域活性化プロジェクト 活動報告書

プロジェクト名：西町ミニデイ

### 活動内容

- ★ 企画を提案
- ★ 西町ミニデイ見学
- ★ テララン作成
- ★ ゲームで使う物の作成



参加者の自己紹介



輪投げ



整理運動

### 気づいたこと

- ★ 座ってできる運動
- ★ コミュニケーション
- ★ 手助け
- ★ 有意義な時間

### 目次

- 01 目的・背景
- 02 活動内容
- 03 結果・成果
- 04 考察・気づいたこと
- 05 今後の課題
- 06 お世話になった方

### 西町ミニデイ活動内容

- ★ 自己紹介（自分たちの）
- ★ ミニデイの参加者自己紹介
- ★ ダンス
- ★ 新聞ゲーム
- ★ 輪投げ
- ★ 整理運動
- ★ 結果発表・メダル授与 あいさつ



ダンス



脳トレクイズ



メダル授与

### 結果・成果

- ★ ダンス
- ★ 新聞紙ゲーム
- ★ 輪投げ
- ★ 時間配分
- ★ コミュニケーション

### 目的・背景

運動不足を解消したり、他者とコミュニケーションをじったり、気分をリフレッシュしたり、朝を促って認知力を刺激したりすることで、心と体の健康を保ち、輝きをもって元気に過ごせるようにする。



### 自己紹介



新聞紙ゲーム



ボーリング



メダル授与

### 改善点

- ★ 参加者へインタビュー
- ★ マイクやスカーンなどの音響確認
- ★ 緊急時の対応
- ★ 高齢者の方のやりたいことをやる
- ★ 会話を増やし、交流を深めていく

ホ 2学年「地域防災学Ⅰ」(1単位)

考査	月	学習項目(単元名)	学習内容	押さえるべき事項	評価の観点		
					①	②	③
前期中間考査	4	オリエンテーション (1) 1 地域防災学の学習内容について	・1年間の学習内容と学習意義を理解し、各自の学習目標を設定する。	・学習内容と意義を理解したか。	○	○	○
	5 6	2 日本と加美町地域の自然環境と災害の種類 A 気象災害と防災 B 地震災害と防災 C 様々な災害と防災	地震の仕組みと被害 震度とマグニチュード 地震による災害 津波の仕組みと被害 津波被害の軽減・風水害 風水害 土砂災害 広域大規模火災 これまでの振り返り	・気象災害の発生と現状、その防災について理解できたか。 ・地震災害の発生と現状、その防災について理解できたか。 ・加美町で過去発生した災害について原因と現状について理解できたか。	◎	○	○
前期期末考査	7	3 災害時の対応 A 衣・食・住	・災害時の衣食住に関わる留意点に着目し、生活維持の工夫と技術を学び、実践できるようになる。	・災害時の衣食住について探究活動を通して理解できたか。			
	8	B 災害時に生き抜く力	・災害対応訓練 (河川災害対応) ・災害サバイバル 簡易トイレ ・避難所運営 ・ボランティア活動	・河川事故にについて実習をとおして理解できたか。 ・避難所の運営や災害時に必要な知識を理解できたか。 ・災害に対するボランティア活動について理解できたか。	○	◎	○
	9						
後期中間	10	4 探究活動 (課題作成と解決)	・これまでに学んだ既習事項について、課題を設定し、解決のための行動する。	・これまでの学習内容についてまとめ、課題を設定し、課題解決のアクションを行うことができたか。	○	○	○
	11						
	12						
後期期末	1	4 探究活動 (レポート作成と報告)	・これまでに学んだ既習事項について、課題を設定し、解決のための行動をレポートにまとめ、活動を報告する。	・これまでの学習内容についてまとめ、報告できたか。	○	◎	◎
	2						

地域における自然環境の特徴と想定される自然災害について学び、防災・減災の観点から各個人から地域が取り組むべき対応と課題を把握し、その課題を解決していく力を育成する学校設定科目である。2学年「地域防災学Ⅰ」においては、体験を通して、防災意識を高めることを主眼においており、陸上自衛隊、加美消防署、尾西食品株式会社から講師を招き、多様な学びを提供してきた。年度後半には、学んだ知識をもとに次年度の「地域防災学Ⅱ」において探究したいテーマを一人ひとり考え、活動計画を策定した。

【応急救護訓練 (講師：自衛隊大崎地域事務所)】



【水難救助訓練（講師：加美消防署）】



【アルファ米実食体験（講師：尾西食品株式会社）】



ハ 3 学年「地域防災学Ⅱ」（2 単位）

考査	月	学習項目(単元名)	学習内容	押さえるべき事項	評価の観点		
					①	②	③
前期 中間 考査	4	オリエンテーション (1) 1 地域防災学Ⅱの学習内容について	・1年間の学習内容と学習意義を理解し、各自の学習目標を設定する。	・学習内容と意義を理解したか。	○	○	○
	5	2 防災・減災の取り組み事例の検証 A 震災体験を語り継ぐ	・東日本大震災被害状況の再確認 ・インタビューをもとに震災時に必要なコトの検証 ・震災時に必要なコト/啓発方法と啓発活動 ① 震災時に必要なコト/啓発方法と啓発活動 ②	・東日本大震災の記憶を持っている人から震災時に必要なコトについて、考察し、まとめて表現できる。	○	◎	○
	6	B 防災避難訓練	・防災訓練の目的と意義について考察  ・水難救助訓練	・防災避難訓練の意義と役割を理解し、自ら防災訓練を企画することで、理解を深めることができたか。	◎	○	○
前期 期末 考査	8 9	C 防災意識向上プロジェクト ～幼稚園児に防災授業を行おう～ (静岡大学藤井研究室協力授業)	①防災基礎知識 ②災害時は SNS を上手に活用しよう ③楽しく学べる方法を考えよう ④個人企画書 ⑤防災授業企画書 ⑥幼稚園児への防災授業の実践 ⑦まとめ	・防災について正しく理解し、それを幼稚園児に教えることで、防災意識を広める行動の重要性を理解できるか。	○	◎	○
後期 中間	10 11	4 探究活動 (課題作成と解決)	・これまでに学んだ既習事項について、課題を設定し、解決のための行動する。	・これまでの学習内容についてまとめ、課題を設定し、課題解決のアクションを行うことができたか。	○	○	○
	12 1 2	4 探究活動 (レポート作成と報告)	・これまでに学んだ既習事項について、課題を設定し、解決のための行動をレポートにまとめ、活動を報告する。	・これまでの学習内容についてまとめ、報告できたか。	○	◎	◎

地域における自然環境の特徴と想定される自然災害について学び、防災・減災の観点から各個人から

地域が取り組むべき対応と課題を把握し、その課題を解決していく力を育成する学校設定科目である。3学年「地域防災学Ⅱ」においては、「地域防災学Ⅰ」で学んだ知識をもとにしながら、地域とともに防災について学び考える機会を創出することを主眼に置いた。静岡大学藤井基貴研究室の協力のもと、本校生徒が近隣の幼稚園・保育園で防災授業を行う「BOSAI ユースアンバサダー」事業を実施したほか、加美町総合防災訓練への参加、「うめえがすと鍋まつり in 加美」への炊き出し鍋の出店、防災士会みやぎから講師を招いての「地域防災研修会」の実施等、多角的に活動を展開した。

【BOSAI ユースアンバサダー（講師：静岡大学藤井基貴研究室）】



【加美町総合防災訓練】



【うめえがすと鍋まつり in 加美】



【地域防災研修会（講師：防災士会みやぎ）】

